

○「課題を整理 今後の地区の姿を模索」

(京都府宮津市 吉津地区連絡会議)(平成30年度第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

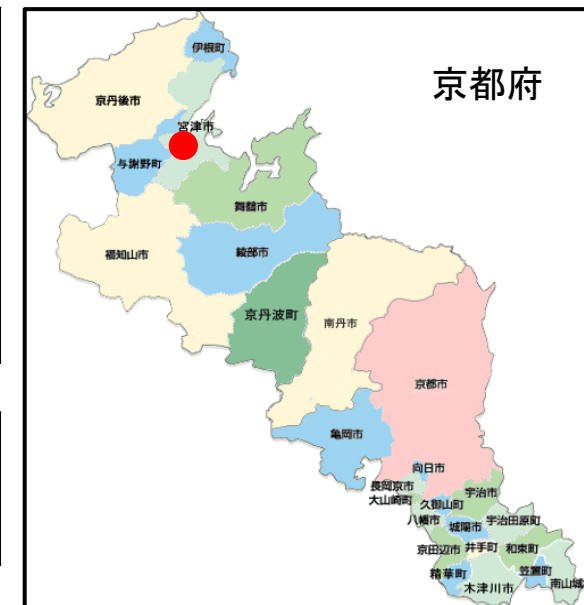
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年7月30日(月) 13:00~16:30
- 場 所: 宮津市吉津集会所
- 出席者: 宮崎委員、尾関委員、糸井推進委員
協力員3人、事務局2人、事業役員4人
※委員3人、委員以外9人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 耕地30ha、地区区分は須津西・須津東・文殊(地区により農業・農地に対する考えが違う)
- 共同作業4ha: 高齢のため29年に解散 受託組合(コンバイン、乾燥機): 高齢のため3年前に解散
他地区の耕作者1人1ha ※須津農家組合(自治会連携): 地主・耕作者105人で構成、水路整備やヘリ防除



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 最初は強い不満と否定的な発言に終始していたが、途中から今後の方策について真剣な協議に変わった
- 今後、協議する課題 ①賃借料の見直しと地主との話し合い ②地主の農作業への参加方法 ③販路
④経営形態(利用権、受委託) ⑤中核農家の方向(個人農家の規模拡大)
- 意見交換(農業懇談会)
 - ・今後の農業について(販路の確保が必要、山際まで保全するには限度がきている 等)
 - ・貸借契約について(耕作者の責任となり地主が無責任になっている、使用貸借を周知、契約見直し 等)
 - ・受委託方式について(基幹作業を受委託とし、草刈り・水管理は委託者が行うのどうか 等)

4 活動結果

- 情報・意見交換 3.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援